河内まちづくりセンター・河内公民館の今後の取り組みについて

区－1

1. 背景

・本市では、平成２９年（２０１７年）３月に熊本市公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）を策定し、総合管理計画に掲げる３つの基本方針（「資産総量の適正化」、「施設の長寿命化の推進」及び「施設運営に要する総コストの削減」）を踏まえ、既存施設の長寿命化を図るとともに、更新の際の規模適正化や施設の統廃合などの公共施設マネジメントに取り組んでいるところ。

・両施設とも老朽化が進み、維持コストや防災面、バリアフリー対応に課題があり、地域の公共施設のあり方を見直す中で、効率的かつ、災害にも強い拠点づくりが求められている。

2. 経緯

・令和4～5年度に来庁者アンケートや自治会・地域団体との意見交換を実施し、両施設の課題や地域ニーズについて**機能の非効率性、災害対応上の制約など**の課題の整理を行った。これらを踏まえ、令和6年度公共施設マネジメント推進本部会議等では、災害に強く、敷地に余裕のある公民館との複合案をもとに取り組むこととし、取組にあたっては、河内まちづくりセンターが**地域の拠点性が最も高い場所にあり、 旧河内町役場として地元の方々の思いも強くある**ことから、**地域住民の方々との丁寧な意見交換を十分に行う必要がある**とした。

3. 施設情報

まちづくりセンター

公　民　館

	河内まちづくりセンター	河内公民館
築年数	昭和58年（1983年）	平成2年（1990年）
大規模改修時期	令和9年（2027年）	令和13年（2031年）
敷地面積	2009㎡	17987㎡
延床面積	2766㎡	1478㎡
耐震基準	新耐震	新耐震
機能	証明書発行・土木・農業支援 福祉相談・各種申請	公民館機能・図書室
課題	老朽化に伴う維持費増・利用者数の減少	
	・洪水、高潮時は浸水の可能性あり ・土砂災害警戒区域 ・旧議場などの未利用スペースが多い	・基本避難所であるがエレベーターがなく、設置も困難 ・高台にあるため利用者に負担が大きい

4. 今後の取組等について

・地域団体との意見交換に加え、住民説明会やアンケートを通じて広く意見を聴取するとともに、議会の意見を伺いながら、地域の方々と**利便性と機能性の高い公共施設のあり方を検討**していく。

・今後のスケジュール

令和７年度：①自治会等地域団体との意見交換・住民説明会・ワークショップ・来庁者アンケートの実施

②議会への報告及び意見聴取（第２回定例会、第４回定例会、令和８年第１回定例会を予定）

令和８年度以降：地域協議・基本構想計画（～R10）、基本実施設計（～R13）工事（R13～R14）を予定